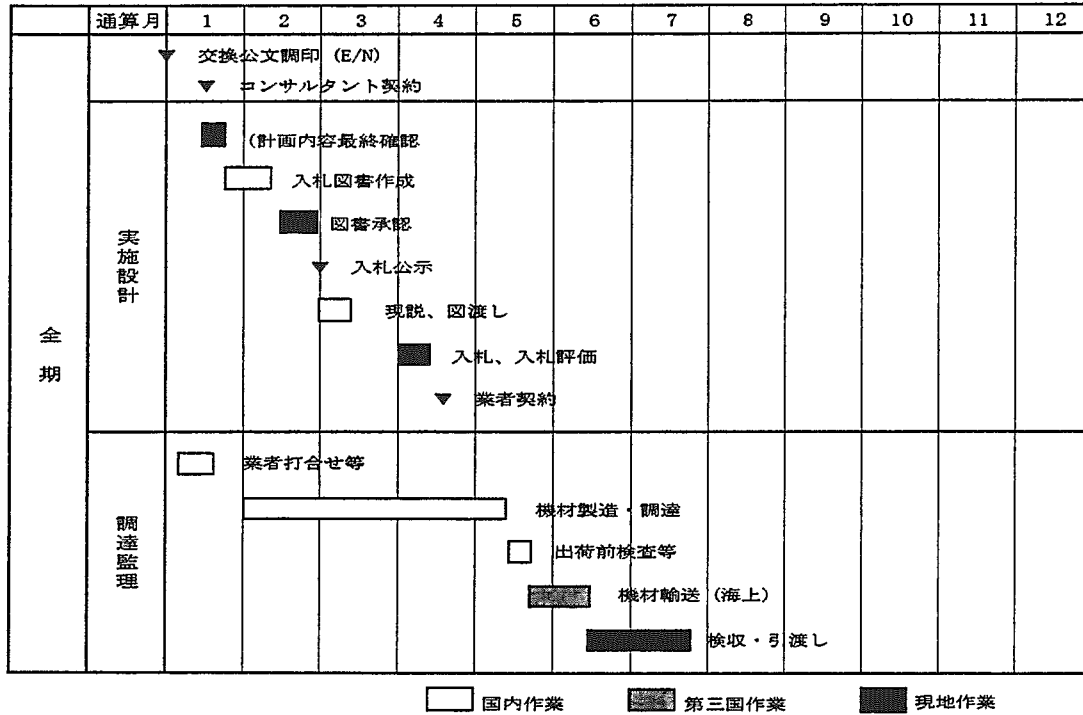


第4章 事業計画

4-1 実施工程

4-1-1 実施工程

表-13 事業実施工程



4-1-2 相手国負担事項

本プロジェクトの実施にあたって相手国側が負担する事項は以下の通りである。

- ・ 必要な通関手続き及び現地調達品に係る免税手続き
- ・ テグシガルパ及びコパンから他サイトへの機材輸送
- ・ プレハブ倉庫に係る基礎工事と組み立てに必要な現地労働者労賃
- ・ 新規導入機材の活用に必要な要員の確保

上記のうちプレハブ倉庫の基礎工事、および組立に必要な現地労働者労賃は次表の通り約89.38万レンピーラ（約6.72百万円）と見積もられる。

表－14 プレハブ倉庫基礎工にかかる費用と人件費

(単位:レンピーラ、1レンピーラ=7.52円)

No	名称	数量	単位	単価	金額	摘要
1	水盛	421	m ²		0	人件費を含む
2	墨出し	421	m ²		0	人件費を含む
3	根切	82.3	m ³		0	人件費を含む
4	埋戻し	71.1	m ³		0	人件費を含む
5	残土処分	11.3	m ³		0	人件費を含む
6	盛土	127	m ³		0	人件費を含む
7	搬入土	116	m ³		0	人件費を含む
8	碎石(基礎)	3.1	m ³	100	310	
9	碎石(土間、スロープ)	42.1	m ³	100	4,210	
10	捨てコンクリート(生コン、打設手間共)	1.5	m ³	300	450	人件費部分は別途22を含む
11	基礎コンクリート(生コン、打設手間共)	15	m ³	300	4,500	人件費部分は別途22を含む
12	土間、スロープコンクリート(〃)	43.9	m ³	300	13,170	人件費部分は別途22を含む
13	一般型枠	111	m ²	50	5,550	
14	打放型枠	139	m ²	50	6,950	
15	鉄筋加工組立(材工)	731	kg	750	548,250	代替資材
16	土間、スロープワイヤーマッシュ 5φ	437	m ²		0	代替資材
17	土間ポリエチレンフィルム t=0.15	421	m ²		0	代替資材
(16,17)	防湿タイル(上記16, 17のための現地資材)	6727	枚	15	100,905	
18	アンカーボルトセット(材工)	84	本	30	2,520	代替資材
19	布基礎天端モルタル	140	m	500	70,000	
20	土間金ゴテ押え	421	m ²	300	126,300	
21	スロープ モルタル補修 4m×2m	2	ヶ所	450	900	
22	人件費	140	人・日	70	9,800	
	合計				893,815	

4-2 概算事業費

4-2-1 概算事業費

本協力対象事業を実施する場合に必要な事業費総額は、2.40 億円となり、先に述べた日本と「ホ」国との負担区分に基づく相方の経費内訳は、下記(3)に示す積算条件によれば、次の通り見積もられる。

(1) 日本側負担経費

表－15 概算事業費総括表

区分	金額 (億円)	備考
機材調達費	2.06	
機材費	1.98	
現場調達管理・据付工事費等	0.08	
設計監理費	0.17	
実施設計費	0.12	
施工監理費	0.05	
ソフトコピー等費	0.0	
合計	2.23	

- (2) 「ホ」国負担経費 89.38 万レンピーラ (約 6.72 百万円)
 プレハブ倉庫基礎工事・組立費 89.38 万レンピーラ (約 6.72 百万円)

(3) 積算条件

積算時点	平成 13 年 2 月
為替交換レート	1US\$=110.26 円 1 現地通貨=7.36 円
施工期間	機材調達の期間は 4 - 1 - 1 に示した通りである。
その他	本計画は日本国政府の無償資金協力の制度に従い、実施されるものとする。

4 - 2 - 2 維持・管理計画

本プロジェクト機材に係る人件費を含む維持管理費増額分は下表の通り約 933 万円 (年間) と見積もられる。これは 2001 年度 IHAH 全体予算の約 4.1% に相当する。予算の平均伸び率は 23.14% であり増加予算から充分カバーできる金額である。維持管理費の積算根拠を付属資料 6-3 に示す。

表 - 16 本プロジェクトに係る維持管理費

(単位：レンピーラ、1 レンピーラ ¥7.52)

費目	円 (百万円)
人件費	3.50
車輛等維持修理費	2.71
車輛等燃料費	2.56
車輛等油脂費	0.10
その他機材維持管理費・消耗品費	0.46
合計	9.33